

We can do, if we will.

「やればできる」

素晴らしい学生力、 教職員力

”学園一番桜“

新入生そして新任教職員の みなさん 学園によろこそ

理事長 江端源治

今春3月18日、学園勾玉橋西側の桜が学園で一番に、そして近畿でも一番に開花しました。桜は約1ヶ月の長きにわたり咲き誇り、我々を晴れやかに迎えてくれました。”学園一番桜“今年もありがとう。自然の変らぬ営み、春の清々しくも力強い息吹とともに多くの新しい学生、生徒、園児たち、そして教職員のみなさんが私たちの学園にや

ってきました。ご入学、ご着任おめでとうございます。大歓迎いたします。多くの友やわれわれ教職員とともに素晴らしい学園生活を創り上げてまいります。保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお慶び申し上げます。お子様の自己実現という目標達成に向け、学園教学活動にご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

建学の精神

「感恩」

ありがとうを原動力に

わが学園は私学であり、学園の魂ともいえるべき建学の精神は「感恩」です。”ありがとう“という感謝の気持ち、素直な思い、それがわれわれの行動原理です。豊かな感受性をもって、何の「ありがとう」なのか? ”どうして「ありがとう」なのか?“に気づき感動したとき、自分がまた一つ豊かになり、そしてその

行動から、また次の新たな「ありがとう」が生まれてきます。ぜひ積極的に意識して多くの「ありがとう」と出会える学園生活を送ってください。

わが学園は、この建学の精神「感恩」を体し、人間の絆に目覚め、感動と感謝の念から発する情熱をもって人に幸せをもたらす、社会に貢献し得る人材を育成し、幸福・平和で豊かな社会の構築に寄与したいと願っています。学園の各校園はこの崇高な使命を全うするため、それぞれの教育目的・理念のもと具体的な教育目標を掲げ、日々の授業・保育活動に総力を結集しています。

「ありがとう」を原動力とする行動によって、この学園を豊かな心で満たし、学園カラーをもに創ってまいります。

「やればできる」!

奇跡は起こる、奇跡は起こす

今春、高校の卒業式で植野菜さんの答辞に、多くの人が感動し元気づけられ、希望を新たにしたのはないでしょうか。彼女は見事、意中の大学に素晴らしい成績で合格しました。高校入学当初は自分にとって全く無縁と思っていた”あの大学“が、努力に努力を重ね、”夢“になり「希望」になり確かな「目標」へと育て、ついに「現実」のものに成し得ました。達成までの道程において、自分を支えてくれた多くの人たちへの感謝、そして全力を尽くし頑張り通した(自分への)満足感・喜びの気持ちを込めて、彼女は「奇跡は起こる、奇跡は起こす」と優しくも熱く力強いメッセージを送ってくれました。卒業生も、在校生も、保護者も、そして教職員も誰もが「よし、自分も!」と

勇気づけられたのではないでしょう。か。「やればできる！」この気概、信念が大切です。いくつになっても、どんなときでも決して忘れてはなりません。簡単にあきらめてしまったり、自らの努力を尽くそうとせず、せっかくの自分の可能性を放棄することほど、もったいないこととはありません。植野菜さん、ありがとうございます。

素晴らしい学生力

学生力は無限

素晴らしい教職員力

教育への情熱

学園吹奏楽団K'sコンサート開催
幼稚園柔道の「形」名演技
高校の大学合格実績向上
PT、OT 100%合格
歯科衛生士 100%合格
社会福祉士 149名合格
管理栄養士 53名合格
養護教諭 22名正規採用(関西)

わが玉手山学園には4千数百名の学生・生徒・園児がいます。彼らは実によく頑張っています。昨春に学生・生徒らにより結成

された玉手山学園吹奏楽団が昨年末にK'sコンサートを開催、彼らのレベルは実に様々でした。が一生懸命に練習に励み、多くの観客の胸を熱くし感動を与えてくれました。そして彼らは今春から大学の入学式、卒業式でも学生歌「恵みの美空」を演奏し、歓迎に一層の慶びを表してくれました。幼稚園柔道クラブでは本園を卒園したばかりの小学生が、見事な「形」の演技を披露してくれました。高等学校ではこれまでになく素晴らしい大学合格実績をあげてくれました。専門学校では理学療法士(P.T)、作業療法士(O.T)、短期大学では歯科衛生士のそれぞれの国家試験合格100%を成し遂げました。(全国平均は決して100%ではなく年々低下傾向にあります。) 大学では社会福祉士国家試験に149名合格、管理栄養士国家試験に53名合格、これとともに本学過去最高数であり、また養護教諭22名正規採用は関西一の素晴らしい実績です。

本当によく頑張ってくれました。彼らの目標達成に向けた直向な努力に敬意を表し心からお祝いを申し上げます。また彼らの頑張りは、「やればできる！」

という大きな希望と元気、勇気を後輩たち、そしてわれわれ教職員にも与えてくれました。心から感謝いたします。「本当にありがとうございます！ われわれも頑張ります。」そして「彼らを伸ばせるだけ伸ばしたい」と情熱をもって指導にあたってくれた教職員のみなさまの「頑張り」にも心からなる敬意と謝意を表します。素晴らしい学生力、教職員力の確かな教育力・情熱、学生・生徒・園児たち、そして教職員のみなさまがわが学園の最大の宝であり誇りです。「やればできる」、学生力、教職員力は無限です。ますますの向上、発展を大いに期待しています。

THE ベストランチPJT

関西一の

学園食堂を目指す

多くの学生・生徒、教職員が一日に一度は訪れる場所、それは学園の食堂です。皆さん最近の学園食堂、よくなってきましたませんか？ 毎日の食事がおいしく(美食)、体によくて(健康食)、安い(経済食)こと。相反しがちなこの3つの要素をできるだけ満たす食事を楽しみたい。業者

の方々にお願するだけでなく、自分たちにも何かできないか。本学には管理栄養士養成の福祉栄養学科があります。QOLを高める「食」を志す学生たちの知恵、アイデアを活かさない手はありません。そうして昨年からは教職員・学生大学の知、食堂業者が共同して快適「食」を目指すプロジェクトが始まり、熱心に改善作業が進められています。「野菜っておいしいんだ！」、作品試食会における学生の素朴な感想、本学学生考案の食事メニューが学園食堂に登場するのももう間近、サラダバーも設置されました。毎日、快適な「食事」を愉しみ会話を弾ませましょう。本学園の食堂を「関西一の学園食堂」にしたい！、皆さんとともに創り上げていきましょう。

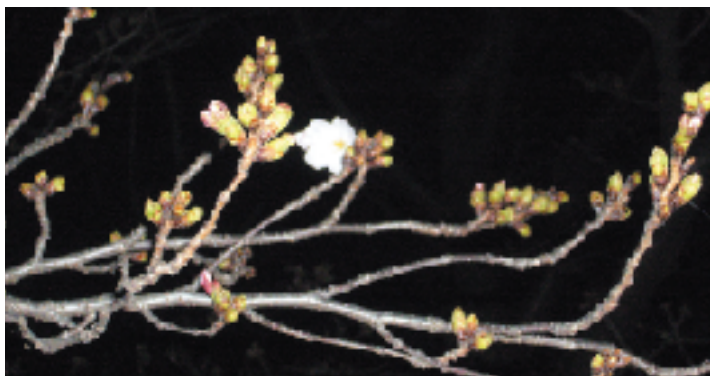
笑顔、あいさつ

心優しいマナーが

あふれる学園に

一般論として、「若い学生・生徒たちと接している教職員は若々しい。」というのは事実であらうと思います。若者たちのハツラツとしたエネルギーに接し元気をもらっていることは間

違いありません。笑顔、あいさつ、心優しいマナーも同様のことであります。笑顔、あいさつ、心優しいマナーから、心の豊かさが発信され、伝わっていきまします。送り手も受け手も、どちらも清々しく爽やかな気分になります。特別なことなど不要です、少し意識して勇気を出して「おはようございます」と言えたいのです。「玉手山学園にいたら、とても気分がよく元気になる。」そんな学園をとともに創り上げてまいりましょう。



		入			
			学		
				状	況



大学・大学院

【新入生の入学は554名】

今年度は554名の新入生を迎えました。学部生525名（1年生470名、3年次編入生55名）、大学院生29名（博士後期課程5名、博士前期課程及び修士課程24名）です。

ここ数年、受験生の大学選択時期が早期化しております。本学では早期に受験生を確保する為、5月から8月までを重点時期と考え、在学生や教員の協力を得てオープンキャンパスの回数を増やし、本学への受験志向

を高めてもらえるよう努力しております。また、今年度より地方会場でのAO入試（中期日程、山口・高松）を設定、さらに年内には推薦入試C日程を追加するなど、より多く受験していただける機会の提供に努めております。

早期合格者には、大学生活を迎えるにあたっての疑問や不安を解決し、「大学で学ぶ意欲、意識」をより一層高めてもらうことを狙いとして、入学までの期間に入学前教育を実施しております。

入学していただいた学生をいかに育て、いかに卒業させ、いかに就職させるかが本学の命運を握っていると考えます。積極的に本学の学びと研究、他大学との違いの広報に努め、目的意識を持った学生の確保に向けて邁進していく所存です。学園関係者の皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

短期大学

【入学生は280名】

今年度は280名の新入生を迎えました。保育科90名、保健科84名（養護・保健コース40名、医療秘書コース44名）、そして

歯科衛生学科106名です。

短期大学希望者の志願決定時期はまずまず早期化しております。

5月からスタートしたオープンキャンパス内では、関西女子短期大学の魅力を伝えるとともに、出願比率が高くなってきているAO入試について十分理解をしていただけるように広報しています。

また、本年はAO入試後期日程も設定し、さらなる入学生確保に努めています。

早期合格者には、入学までの期間に、ピアノ個別レッスン・感想文・手紙作成などの入学前教育を実施しております。

入学生一人ひとりの満足度を上げ、目標とする就職ができるよう良質の教育サービスを提供することが責務でもあると考えております。明確な目標・目的を持った学生の確保に向けて邁進していく所存です。

学園関係者の皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



高等学校

【入学者数は197名】

今年度の入試の状況は次のとおりです。志願者数1221名、入学者数は特別進学Iコース13名、特別進学IIコース142名、総合進学コース42名です。

高校では、「新生・関西福祉科大学高等学校」を旗印に教育内容を一新し、特別進学Iコース、特別進学IIコース、総合進学コースの三コースを導入し、昨年度、最初の卒業生を出しました。

特に特別進学Iコースにつきましては、関西大学12名、京都産業大学5名、近畿大学7名、龍谷大学8名、同志社女子大学1名、武庫川女子大学2名（いずれも延べ数）等の合格者を出すに至りました。

3年間で学力を磨き、目標とする進路を達成させることを最大の努力目標として、引き続きそれぞれのコースごとに掲げた目標を達成すべく邁進しているところであります。

今年度も引き続き、関西福祉科大学高等学校の教育力を高め、学習指導のさらなる充実を図り、さらに総合学園として、併設大学・短大・専門学校との

連携強化を図るなど、学園あげて懸命に取り組んでおりますので、今後ともご支援をお願い申し上げます。

専門学校

【入学者数は105名】

本年度、専門学校は105名の新入生を迎えることができました。最盛期の170名近くの入学者数と比較すべくもありませんが、昨年度の122名という入学者数と比べても14%もの減少となり、今更ながら学生募集の厳しさを実感する結果となりました。

学科ごとの状況は、理学療法学科は5%増、作業療法学科は7%減と入学定員の関係で微増減であり、両学科の合計入学者数は前年比一名減のみであったものの、診療情報管理・介護福祉の両学科がおのおの36%の大幅減となり全体の入学者数に大きな影響を与えました。

昨年度は両学科とも前年実績を上回り、ひそかに期待するものがあつただけにこの結果には愕然とさせられるものがありました。

次に志願者数という視点から見ると、診療情報管理学科

は入学者数同様36%、介護福祉学科は28%の大幅減となりましたが、理学療法学科は6%の減少となったものの20年度が3月入試まで実施したうえでの数字であったのに対し、21年度は12月で学生募集を終えており実質的に増加、さらに作業療法学科は5%の増加と大健闘でした。

この要因としては、新たにスタートさせたAO入試の実施、指定校推薦依頼校数の大幅拡大など志願者対策が功を奏したものと考えられます。

本校を取り巻く状況を見ると、分野を問わず「専門学校志望」が激減しており、さらに、本校設置分野である医療・福祉分野の志望者減はますます顕著となっております。

福祉分野については、介護福祉士養成施設の大半が大幅な定員割れを起し、募集停止が相次いでいるなど危機的な状況となっております。

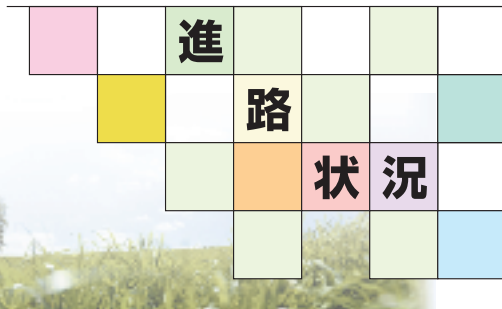
また医療分野においてもすでにリハビリテーションブームは過去のものとなっており、特に作業療法においては4年制大学においても学生募集が困難な状況が見られます。

このように平成21年度学生募集は極めて厳しい状況下での募集活動となりました。

この状況が次年度大きく好転

することは予想されず、さらに厳しい状況が続くと思われまます。こうした中、専門学校としては全教職員が一丸となって確実な学生確保を図っていく所存です。

また、学園内各校との連携をより進めることにより一名でも多くの入学者を確保したいと考えておりますので、学園関係者の皆様のご協力をお願いいたします。



大学・大学院

大学の平成20年度卒業生の進路状況について報告いたします。

平成20年度の卒業生は675名、うち就職した者が558名、進学した者が37名でした。

100年に一度と言われる経済危機の中、学生の頑張りと教職員のサポートのもと、大学全体で就職率96%（就職希望者579名に対する就職者558名の割合）という高い就職率を達成することができました。

学科別に見ますと、社会福祉学科は、就職希望者297名に対し289名が就職（就職率97%）、臨床心理学科は、就職希望者90名に対し84名が就職（同95%）、福祉栄養学科は、就職希望者82名に対し81名が就職（同99%）いたしました。

大学院につきましては、27名中22名が修了後の進路を確定いたしました。進学につきましては、37名中5名が関西福祉科学大学大学院へ進んでいます。

次に国家試験の合格状況ですが、社会福祉士149名、精神保健福祉士19名の合格者数となりました。社会福祉士の合格者数につきましては、昨年と比べ23名も合格者が増え、全国社会福祉士を養成する199大学中、第7位となりました。

管理栄養士の合格者数は53名と、昨年に比べ10名増加いたしました。

ました。

また教員採用試験（公立・養護教諭）では、10名（現役）が合格いたしました。

平成21年度も、教育後援会の協力のもと、更なる合格者アツプを目指してまいります。

平成20年度 進路状況

(平成21年4月30日現在)

	全 体	社会福祉学科	臨床心理学科	健康科学科	福祉栄養学科
卒業生	674	332	133	121	88
就職希望者	579	297	90	110	82
就職内定者	558	289	84	104	81
就職決定率	96.4%	97.3%	93.3%	94.5%	98.8%
進学希望者	44	10	26	4	4
進学決定者	37	9	20	4	4
進 学 率	84.1%	90.0%	76.9%	100.0%	100.0%
そ の 他	51	25	17	7	2

短期大学

短期大学の平成20年度卒業生の進路状況について報告いたします。

平成20年度の卒業生は283名、うち就職した者が253名、進学した者が11名でした。就職希望者265名に対し253名が就職（就職率95%）いたしました。卒業生総数に対する就職決定者の割合は89%となりました。

科・コース別で見ますと、保育科が就職希望者77名に対し全員が就職（就職率100%）、保健科養護保健コースも就職希望者43名全員が就職（就職率100%）、同科医療秘書コースも就職希望者39名全員が就職（就職率100%）いたしました。歯科衛生学科は、就職希望者106名に対し、94名が就職（就職率89%）しております。

進学につきましては、11名中6名が関西福祉科学大学へ進んでおります。

次に、歯科衛生士の国家試験合格状況ですが、受験者106名全員が見事合格いたしました（合格率100%）

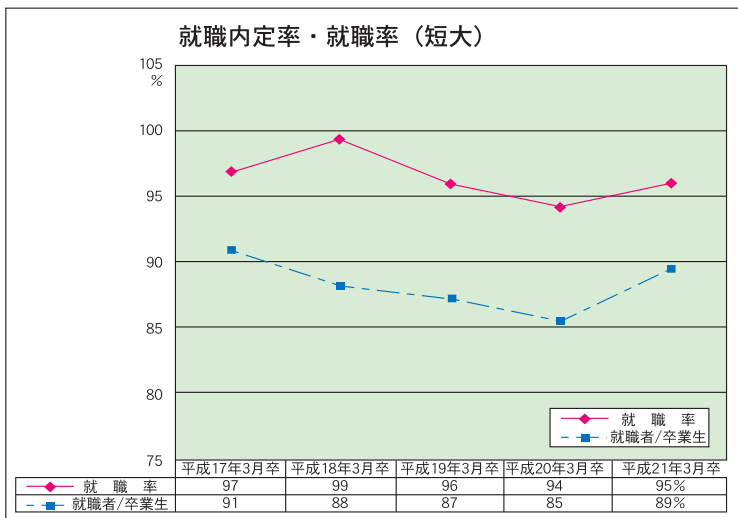
今年度も引き続き、教員の力強い指導と職員の支援を行い、経済危機に負けることなく、就

3コース制になって初めての卒業生を出しました。進路実績と

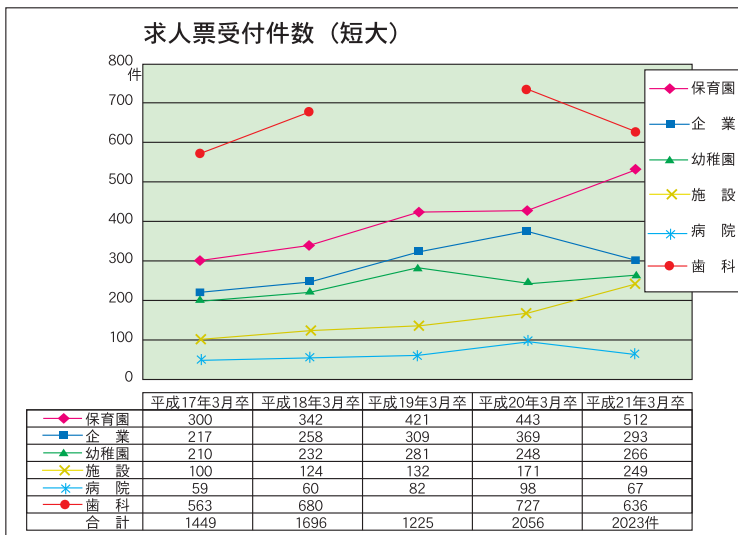
高等学校



職率の向上に努めてまいります。



しては、延べ数ではあるものの、関西大学12名、京都産業大学5名、近畿大学13名（過年度1名含む）、甲南大学1名、龍谷大学8名、摂南大学2名、神戸学院大学2名、桃山学院大学7名、武庫川女子大3名、同志社女子大1名、京都外国語大学2名、関西外国語大学2名、駒澤大学1名などの合格者を出しました。一般入試で特進Iコースが関西大学、特進IIコースが甲南大学への入学を果たしており、総合進学コースからも公募推薦で近畿大学への入学を果たしてお



ります。就職状況は、5名の就職内定者と公務員試験の合格者1名（兵庫県警）を出しました。内定の取り消しが相次ぐ状況の中ですが、幸運にも本校ではそうした事例はありませんでした。今年度の実質的な4年制大学への進学者数は75名です。内訳は、特進Iコースの進学者数10名（90.1%）、特進IIコース57名（47.9%）、総合進学コース8名（16.7%）となります。大学全入時代をむかえ、「入試の易化」が最近問題になって

おります。

「何もしないでも入学できる大学」があるために、精神的に受験対策を十分行わず大学に入学するという生徒が本校にも存在するようになってきております。そういう生徒が「目標を持ち挑戦しようとする生徒の意欲をそいでいる」、つまり学校全体の学習意欲の低下をまねく原因になっているのであります。今こそ我々は、このような意欲のない生徒たちを学力面で見限ったり、排除するのではなく、しっかりと一人一人の生徒と向き合い、人生を語り、絆を深め、生徒一人一人の可能性を引き出し、未来につなげるような積極的な進路指導、人生指導、学習指導、受験指導を施さなければならぬと考えております。

専門学校

平成20年度の卒業生は99名。就職率98%。企業とは、在宅介護サービスを行う株式会社であり、就職先はすべて医療福祉関連でした。

また、理学・作業両学科の国家試験受験結果は全員合格でした。

平成20年度 進路先一覧

学科名	性別	病院	老健	診療所	企業	特養	福祉大進学	専攻科進学	不希望	未定	就職	就職希望者	総計
診療情報管理学科	男							1			0	0	1
	女	4		1			1	1		2	5	7	9
診療情報管理専攻科	女	3		1							4	4	4
介護福祉学科	男		2				3				2	2	5
	女	2	4		1		3				7	7	10
理学療法学科	男	15		1							16	16	16
	女	18	1	1							20	20	20
作業療法学科	男	11	1	2		1					15	15	15
	女	16	1	1					1		18	18	19
総計		69	9	7	1	1	7	2	1	2	87	89	99



学園トピックス



法人本部長 就任ご挨拶

法人本部長 江端 豊 和

本年4月より学校法人玉手山学園の常務理事・法人本部長に就任させて頂くことになりました。玉手山学園は、昭和17年（1942年）に財団法人山田学園として創立され、平成24年（2012年）に70周年を迎えます。その間、多くの先人の方々の教育に対する情熱と努力により、今日の玉手山学園が築られました。また、学園はこの間「感恩の精神を体して社会に貢献する」多くの卒業生を輩出し、社会的な信頼を得てまいりました。この歴史ある学園の要職に就くことになり責任の重大さを感じております。

世界は今大きく変わろうとしています。未来の新しい社会は、学園で学ぶ園児、生徒、学生の皆さんによって創られます。そして、玉手山学園の社会的責務は「平和で豊かな、人々が幸せに暮らせる社会」を創る若者を育成することにあります。「自己の良心に従い、人々のために貢献し、そのことで自己の人生を豊かにできる人材」を一人でも多く輩出することが本学園の使命であると考えております。そのためには、本学園の教育に携わる私たちが、その使命の重要性を自覚し「学園に学ぶ園児・生徒・学生の幸せを願う」この崇高な使命を達成するために情熱を持って英知を結集することが重要であると考えます。学園関係者の皆様のご理解とご支援を頂き、学園の使命が達成されるよう微力ではありますが努力してまいりたいと存じます。

大学機関別認証評価結果について

リエゾン・オフィサー 小林 芳郎



関西福祉科学大学では、(財)日本高等教育評価機構において平成20年度大学機関別認証評価を受審致しました。その結果、本学は同機構が定める大学評価基準を満たしていることが「認定」され、その認定期間は平成20年4月1日から平成27年3月31日の7年間となりました。本学に対する「評価報告書」

では、「大学が教育や研究に傾注している熱意や現状から、該当する評価基準の諸事項については妥当性が高い」と評価されたほか、本学の「心理・教育相談センター」ならびに「EAP研究所」の教育研究活動も高く評価されました。また、「きめ細かな教育上の配慮が実行されており、学習環

境を良好に保つよう努力している」と本学の教育に対する取り組みも認められております。今回の認証評価結果により、本学の教育研究等の総合的な状況が第三者より明確に保証されたこととなりますが、本学では今回の結果を踏まえ、今後も21世紀の福祉社会の構築に一層寄与していけるよう、更なる発展・向上に努めて参ります。なお、本学の「自己評価報告書」ならびに「評価報告書」の全文は、本学ホームページ上で公開致しております。

井上美里さん・折尾春菜さんへ 在学記授与

—JR福知山線
脱線事故から4年—

大学事務局

平成17年4月25日に発生したJR福知山線脱線事故で尊い命を亡くされた健康科学科の井上美里さんと福祉栄養学科の折尾春菜さんに、本学より「在学記」が授与されました。

「在学記」は、事故から4年目にあたる日、JR西日本主催で執り行われた追悼慰霊式後の同会場において、江端学長よりお二人のご両親に手渡されました。

本学の新生学生であった井上さんは養護教諭を、そして折尾さんは管理栄養士を志して本学に入学され、本来であればこの3月に4年間の学業を修了し、学友たちと共に卒業式を迎えられるはずでした。お二人が本学に在学した期間は1ヶ月にも満たない非常に短い時間でしたが、この「在学記」はお二人が確かに本学に在学され、志を持って学ばれたという証となります。

有文館西側にあるお二人を追悼して造られた「春の里苑」内の碑文にもあるように、事故によって阻まれたこのお二人の夢や希望、その想いは、本学に在籍する私たちの中に脈々と生き続けてゆくことでしょう。



春の里苑碑文

福祉栄養学科卒業生同窓会

「栄養士・管理栄養士会」設立

福祉栄養学科長 小川 正

去る平成20年12月13日(土)、本学福祉栄養学科卒業生による同窓会組織「栄養士・管理栄養士会」の設立総会が学園2号館G403講義室において卒業生・在学生・教職員ら120名の参加の下開催されました。

平成21年3月で第3期生の卒業するのを前にして、その設置が要望されていた念願の同窓会が、一期生・二期生・在学生の努力によってここに実現しました。本学科の卒業生が卒後もその資質の向上を目指し研



鑽に努めると共に、卒業生と在学生・教職員(大学)との情報交換・交流・親睦などを図ることを目的としています。

当面、学生支援センターに事務局を置き、大学の支援をおおぎながら国家試験、進路相談・就職(リクルート)、職務相談、その他諸々の相談応じられる体制づくりを目指しています。

(写真は設立総会風景)

2008 K's Concert 開催

学園吹奏楽団 事務局

2008年、玉手山学園吹奏楽団を立ち上げ、同年12月27日に柏原リビエールホールで「2008 K's Concert」を開催いたしました。日々のご指導と当日の指揮を担当いただいた高等学校音楽教諭安田先生と高校軽音楽部正副部長並びに大学吹奏楽部正副部長に感想を述べてもらいました。

○安田伸一先生

玉手山学園内の大学吹奏楽部を中心に学生(大・短・専門)・高校生・教職員の音楽好きが集まったところから校名の頭文字をとり「K's」といたしました。演奏会は三部構成で企画、第一部は高等学校軽音楽部の演奏です。元気あふれる中にも感性豊かな音楽を聴かせてくれました。第二部は大学・短期大学生の小アンサンブル。学年色を生かし、小編成アンサンブルの良さを十分発揮した演奏を披露しました。最終章は総勢60名を越える吹奏楽団の演奏。聴きごたえある本格的な形を目ざし、力を込めました。力強い大きな拍手をいた

だき、うれしく思います。ポツプスからクラシックまで幅広く選曲し、世代を越えて楽しんでいただけたのではないかと思っております。出演者も緊張の中にも楽しく、充実した演奏ができました。心より御礼と感謝申し上げます。

○引田 琴美

(高校2年生 Trb・部長)

K's Concertは私たちにとって初めてのコンサートでしたが、戸惑いの中、多くの先輩方にお手伝いいただき、とても楽しく演奏をさせていただきました。吹奏楽曲は大学生と合同演奏、軽音楽曲では高校OGの方とジョイント演奏ができ、今までにない経験で、とても学ぶことが多く、勉強になりました。アンケートへも一曲々々に感想を書いていただき、多くの方々に支えられ成功できたと思います。お世話になりました。全ての方々に感謝いたします。ありがとうございました。

○唐仁原 加苗

(高校2年生 Sax・副部長)

このような大きな舞台に立つ

のは初めてだったのでとても緊張していました。

しかし、演奏を始めると、音楽に合わせ手拍子が鳴り、緊張は一度に吹き飛び、楽しさに変わり、大変気持ちよく演奏ができました。

また、終演後のアンケートに多くのコメントをいただき、「見に来てよかった」「感動した」など書いていただけたことが心に残り、すごく嬉しかったです。演奏をさせていただけて本当に良かったと思っています。

メンバーも一つになり、お客さまにも楽しんでいただけ、最高のコンサートをさせていただきました。

○島崎 優

(大学3回生 Euph・部長)

2008 K's Concert



高校軽音楽部の演奏



学園吹奏楽団の演奏とコーラス

を通して、普段の活動では体験できない、多くの経験をさせていた、だくことができました。

プレッシャーを感じることもありませんでしたが、みんなで気持ち一つにしなが、日々の練習に取り組、迎えた本番。ステージの大きさを実感させられました。コンサートが始まり、緊張の中にも楽しく演奏することができ、ご来場いただいた方々にも楽しんでいただけたのではと思っております。

今回のコンサートを通し吹奏楽団としても、大きな自信につながり、本当に大切な機会をいただき、心より感謝しております。ありがとうございます。

○石原奈央子

(大学3 回生 Hr・副部長)

最後の音を吹き終えたとき「やり遂げた」という気持ちでいっ

ばいになったことをとても印象深く覚えています。こんな達成感を味わえたのも、メンバー全員で演奏会まで駆け抜けてこられたからだと思えます。

私自身も思うような音が吹けなかつたり、落ち込んだ時もありました。そんな時、部員の頑張る姿を見て「もっと私も頑張れるはず」と勇気をもらっていました。

そんな仲間と一緒に演奏会に出演できたことは一生の思い出です。そして練習の成果を多くの方々に聴いていただけて本当に嬉しかったです。最後になりましたが、この演奏会に携わっていた、ただただ関係者のみなさま、そしてご来場くださったみなさま、本当にありがとうございます。

「K's Concert」はこれからもより一層充実させて参りたいと考えておりますので、みなさま方のご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

2009 年は11月21日(土)

にコンサートを行います。皆様のお越しをお待ちしています。(さて楽器のパートはわかりましたか? Trbはトロンボーン、Saxはサクソフォーン、Euphはユーフォニアム、Hrはホルンでした)

Do 夢 (ドーム) の仲間たち

学園総合体育館運営委員会 田 堀 富 造



大阪ハーフマラソンスタート前

の何と多いことかと再認識しました。この大会に本学 祐紀さんが参加し、一般の部で18位と堂々の記録で入賞しています。

彼は、本学サークル「福科ランナーズ&ウォーカーズ」のリーダーで、部員数は25名です。高校の途中で一時陸上を中断しましたが、大学入学後「もう一度楽しく走りたい。学生生活を後悔したくない」とサークル

に入会し、仲間たちと「アットホームに楽しく活動する」ことをモットーに大学周辺や原川土手沿いを皆で楽しく走っています。走る目的はそれぞれ異なりますが(楽しく走りたい、健康になりたい、記念の大会を完走したいなど)、最近では走ることに抵抗がある人にも門戸を開放し、ウォーキング部門も併設して楽しんでいきます。

彼は、就活前の最大目標をこの大会の完走と自己記録短縮におき、当日に向けて練習量と士気高揚をピークにもってゆき、

当日の走りは後半に苦しい場面もありましたが、みごと一年前に比べて10分以上もタイムを短縮し完走しました。本人談は「すばらしい爽快感。自分が最高に感動した走りができたのも応援してくれた友人、部員、家族のおかげと、感謝の気持ちで一杯です。」とのことでした。

写真は、3月8日(日)に好天の下で行われた第27回柏原市市民健康マラソン大会の様です。サークルより6名が参加し、福祉栄養学科2 回生寺坂由希子さんが一般女子10 kmの部で優勝、前述の八木祐紀さんが一般男子5 kmの部で2 位入賞と変則ワンツーフィニッシュしました。

筆者も久しぶりに5 kmにチャレンジしましたが、折り返し以降は苦しみましたが、走りぬいて完走できたことは、非常に爽快感がありました。



優勝した寺阪さん(右)と準優勝の八木さん(左)

最後に学生生活の足跡のひとつに、クラブ活動、寮・下宿生活での先輩・後輩他との共同生活があり、その後の価値観や人格の形成、生涯の友人形成がなされま
す。どんな活動も突き詰めると奥が深いですが、歩くこと、走ることは取っ付きが簡単で手軽です。是非一度見学に来てください。



福科ランナース&ウォーカーズの面々

丸善・キャンパスショップOPEN!

法人本部施設部 中村 勇

数年前より、学園内に学生生活を充実させるような施設が欲しいとの要望が高まり、様々な検討を重ねた結果、「書店」と「コンビニ」を併設した店舗を設置することとし、平成21年4月3日に「丸善・キャンパスショップ」をオープンいたしました。

店舗の設置場所は大学本館1階の学生ホールで、書籍売り場は丸善(株)が、コンビニは丸善から委託を受けたam・pmが運営しています。ショップの店長によりますと「学生さんのニーズに充分応えられるような豊富な品揃えをしておりますので是非御利用ください」とのことです。また、営業時間は平日が9:00~17:00、土曜日が10:00~14:00です。

ショップはオープン初日からたくさんのお客様、教職員が訪れ、大いに賑わっています。



教職員で賑わう丸善キャンパスショップ

「デンマーク福祉研修旅行」

社会福祉学部 橋本 有理子

関西福祉科学大学国際交流委員会主催によるデンマーク福祉研修旅行が、平成21年3月16日~22日に実施され、学生13名と教員1名が参加しました。スウェンボー市の福祉行政や高齢者福祉施設、心身障害児の教育機関等では、自立支援や自己決定など福祉理念の重要性を再確認できる研修でした。なかでも、心身障害児の子どもさんたちとのふれあいでは、学生の接し方に、現地職員の方々から高い評価をいただき、学生たちの良い疲労感の表情も印象的でした。

さらに、今回の福祉研修以外にも、コーディネートのご両親宅への訪問、アンデルセンのふるさとオーデンセ市の静かな街並みでの散策、首都コペンハーゲン市での名所観光やショッピング、最後の日の晩餐会など、多くの出会いや出来事から、デンマーク固有のライフスタイルや価値観、文化を吸収することもでき、学生にとっては、決して忘れることのできない充実と感動の七日間であったと確信しています。



研修旅行へ出発

Vegee 食べるコンテスト開催

野菜のもつチカラを知って
ますます元気になろう!

福祉栄養学科

小松 洋子

本学学生も含んだ「食生活と健康に関するアンケート」では健康状態が不良なものほど朝食や野菜の摂取頻度が低い結果であった。また、学食で食べたいヘルシーメニューは男女とも1位が野菜たっぷりメニューであり、特に一人暮らし者は43.3%が野菜を望んでいた。全国調査の若者の野菜平均摂取量は約240gであり推奨量の350gに110gも不足し、本学学生も同様と想像できる。管理栄養士の卵がいる利点を生かして安く簡単にできる野菜レシピ書を配布しようと考え、野菜を70g程度使用する料理を募集した。書類審査の上位30作品を学生ホールなどに貼り出して学内の皆さんに食べたいメニューを投票してもらった。人気メニューのうち大量調理ができて食堂で販売可能なものを食堂業者さんに選んでいただき試食会を実施した。販売も実現しそうだ。弁当組も学食で野菜料理を一品追加すれば健康度アップは間違いない。レシピ集も作成作業中。元気になりましょう。



人気メニューの試食会

新任・昇任教職員研修会 開催

F D委員会 安藤 友規子

新年度を前にして3月14日(土)、新任・昇任教職員研修会が開催されました。新任・昇任の先生方ばかりではなく、在職中の有志の先生方、職員の方も参加いただきました。

F D委員会としての開催は今回で3度目となり、回数を重ねるごとに教学研究としての充実を図ることができていると感じております。大学と短期大学教員対象の合同開催としたプログラムですが、教育理念や使命については所属別のプログラムにご参加いただき盛会でした。

当日は、江端理事長・大学長の学園「建学の精神と教育理念・社会的使命」、篠置名誉学長の「本学の学士力保証への取り組み」の講演後、所属ごとに祖父江短大副学長、大学の小林・三戸両学部長による学部の「教育理念とその実践」、奥田事務局長の「教員の職務」について講話があり、午後からは「教育活性化と学生指導の方法」、「本学学生の特質」について岩瀬副学長、乾原学生支援センター長に講演いただきました。

終日のスケジュールにもかかわらず終始熱心にご参加頂き、大いに感謝している次第です。2008年度に大学・短大でF D推進が義務化され、2008年12月には中央教育審議会より「学士課程教育の構築に向けて(答申)」が提示され、「教育方法の改善」「成績評価」「教員の職能開発」など教育力向上への具体的方針が明確となり、取り組むべき課題が山積しています。

委員会としてはF D関係諸機関との連携を今後も深め、全教職員挙げての活動にまで高めていきたいと考えています。皆様方のご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



新任・昇任教職員研修会

短大5号館増築について

法人本部 施設部 仲谷 博英

現在、短大5号館の増築工事が進行しています。増築部分は既設の短大5号館の正面に向かって左側で、隣の第2体育館に接近した場所に増築されます。

構造は鉄筋コンクリート造・地上4階建、延床面積は約960㎡です。建物1階は玄関部分に当たるエントランスホールとプール、立教館への通行を可能にする為、柱だけのピロティ部分、2階は音楽練習室・楽器庫があり、3階は調理実習室・試食実習室・男女の実習用の更衣室、4階は看護実習室、看護演習室、研究室となっております。

尚、今回は本学園の4階建て迄の校舎では初めてエレベーターが設置されます。昨今の行政指導方針や学生・教職員からの要望に因應る為にバリアフリー化も推進しています。より使い易く充実した建物の完成に向けて毎週、設計事務所・施工業者・学校関係者の綿密な打合せが行なわれ、竣工予定の10月が待ち望まれています。工事中は騒音等、ご迷惑をお掛けしますがご協力宜しくお願い致します。



短大5号館完成予想図

永年勤続表彰

法人本部総務部

平成20年度の永年勤続表彰式が去る1月9日に理事長室でおこなわれました。

当日は理事長より一人々に感謝状と金一封が渡され、ねぎらいと励ましの言葉がありました。

表彰された方は次のとおりです。

(敬称略)

○ 勤続25年表彰

- ・ 植田光子(高校)
- ・ 平岡教子(幼稚園)
- ・ 仲谷博英(本部)

○ 勤続15年表彰

- ・ 新藤雅代(大学事務局)
- ・ 古谷重雄()
- ・ 金澤友規子()
- ・ 遠山千加()
- ・ 玉井和恵()
- ・ 平井利明(高校)
- ・ 渡辺宏治()



平成20年度永年勤続表彰式